

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年 1月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200309
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム陽だまり日輪荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬二丁目29番37号 (電話) 0995-55-0700
自己評価作成日	平成28年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様が、安心して穏やかに過ごせる環境と季節の行事への参加。地域行事への参加や地域のひろばを通して地域交流、関連事業所との交流とバラエティーにとんだ活動を一人一人の思いを大切にご本人様の意思決定により個別に参加できるように努め提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○静かな住宅街に母体医療機関や同法人のグループホーム・小規模多機能ホーム・デイサービスセンター・サービス付き高齢者向け住宅等と近接したホームである。各種の行事や緊急時の対応など、相互に連携・協力して行う体制が整備され、また母体医療法人との連携は緊密で利用者や家族の安心につながっている。

○地域との交流は非常に活発で、法人主催の市民公開講座の開催のほか、地域感謝祭では、フリーマーケットや野菜の即売、お菓子のつかみ取り、焼き芋や豚汁等の振る舞い、抽選会などの企画で多くの地域住民の参加が得られている。また、地域行事には準備段階からの協力や防災訓練への参加も積極的で、職場体験学習やボランティアの受入れ、保育園児との交流など、地域と協働関係構築に努めている。

○日々のケアに際しては本人・家族の意向や希望を、コミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めて丁寧に関き取る工夫が感じられる。また、主治医や看護師も含む関係者からの多くの情報を基にして、職員全員で十分に話し合い、何よりも利用者の思いを大切にして、きめ細かなわかりやすい介護計画作成につながっている。ケアの経過については、職員の気づきや意見も収集して、様式を工夫した各種の記録に詳しく記載され、計画の見直し・修正に活かしている。

○管理者は良好なチームワークづくりを大切にして、日常的に声かけも頻繁に行い話しやすい雰囲気づくりや働きやすい環境づくりに努めている。把握できた職員の意見や提案を、職員の資格取得やスキルアップ、職場環境の改善等への反映に努め、利用者へのより良い、質の高いサービス実現に役立てている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所共通理念を玄関・事務所に掲示し名札への携帯の継続と事業所共通の理念と独自の理念より良いケアを検討のための作業部会を通して共有実践に繋げている。	法人の介護部共通の理念に沿って年間目標も設定し、利用者が地域や家族と関わりながら楽しく過ごせるよう、思いやりを持った支援となるよう努めている。玄関や事務所等へ掲示、また、名札に記載して意義の理解を深めケアへの反映に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣への散歩やドライブ、地域のひろばの参加、自治会への加入を通して交流を図っている。	自治会に加入して夏祭りや地域のひろば等の催しごとなどに参加し、散歩や買い物で出会う地域の方へのあいさつや声かけなどにより関係づくりに力を入れている。幼稚園児との交流会や音楽療法等のボランティア、中高生の職場体験学習の受け入れを行い、法人主催の地域感謝祭や市民公開講座、ホームの行事にはご家族や地域住民の参加も多い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域のひろばでの「私のアルバム」「認知症サポータ」開催と中学生の職場体験。事業所開催の「市民公開講座」の実施		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の取り組みや事業所の取り組みについて等、意見の交換を通してご意見を頂き、推進会議に職員も参加し意見を直接聞くことで、サービス向上に努めています。	会議は利用者やご家族、地域住民、民生委員、行政や包括支援センターの職員の参加を得て、同法人のグループホーム・小規模ホームと合同で定期的を開催している。それぞれのホームの現況や行事・事故報告、また、問題点・課題等について活発な意見交換が行われ、委員からの助言や提案が地域との交流や日々のサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	推進会議、ライフサポーター、拠点活動や総合事業の作業部会を通して連携を図り今後も構築に努めます。	市担当者や包括支援センターの職員には運営推進会議に出席して頂くとともに、市担当者とは訪問や電話で運営や利用者の状況についての相談等に丁寧に助言・対応して頂いている。また、サービス事業者連合会や地域包括ライフサポート会議等にも参加して意見や情報の交換を行いサービス向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所全体の身体拘束廃止委員会を通して資料配付等での周知とGH独自の資料配付の実施を通して拘束しないケアに取り組んでいる。	居室や玄関等の施錠は原則として行わないケアに取り組み、職員は連携して利用者への見守りや声かけの徹底に努めている。特に言葉による拘束の防止をはじめとする身体拘束については、身体拘束廃止委員会や日々のケアに際しての事例検討やマニュアル等を活用した勉強会で繰り返し確認して理解を深め、安全確保や自由な暮らしを支援するケアへの反映が図られている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内委員会の勉強会とGH独自の委員会より資料配付を通して防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内研修と外部研修、資料配付を通して学び活用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に両説明や重要事項説明等を用い説明し疑問点については丁寧に説明後同意の上契約しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱の設置と何時でも要望を聞ける関係性の構築に努めご意見を反映出来る機会を設けています。	利用者の意見や思いを表情や行動から把握するように努め、ご家族とは来訪時の対話やアンケート・電話での対応によって把握に努めている。内容は申し送りノートや支援経過記録等で全職員が共有を図り、必要な場合は職員ミーティングで対応を話し合い、速やかに本人や家族に報告してサービスに具体的に反映できるように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の業務改善・カンファレンスを通して意見交換を実施して、意見を役職会議や定例会で上げ業務に反映している。	管理者は、日常のミーティングや申し送り、毎月の業務改善会議・カンファレンス時に職員の意見や提案を聞き取ると共に、頻繁に声掛けを行い、必要に応じて個別面談の場も設けて話しやすい雰囲気作りに努めている。得られた意見や提案を、具体的に職員のスキルアップや業務改善、より質の高いケア等につなげるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スキルアップ目標に沿い研修への参加と、事業所独自のスキルマイスターへの参加を通して向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スキルアップ目標にあげた研修を通して個々の目標を知り、定期的実施される施設内研修と外部研修への参加を働きかけケアの向上に繋がるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着連合会、GH協議会の加入とLSWを通しての研修や活動を通して情報交換に活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様・ご家族様より入居前の情報、意向を傾聴して入居後もコミュニケーションを通して信頼関係を築けるように努め一日でも早く慣れて頂けるように努めて居ます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来訪時や、電話を通して状況報告を何時でも話の出来る環境を作り信頼関係が築けるように努めて居ます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス意向を伺う中でご本人様・ご家族のニーズを見極め、他の介護施設の説明を行いニーズにあったケアが出来るように努めて居ます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「○○がしたい」の実現のために職員を交え出来る範囲で、実現できるように関係性を含め努めて居ます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様来訪時、入居者様を交え交流を図りそれぞれの場面に合った対応を心がけより良い関係を築けるように努めて居ます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様・ご家族様の傾聴を通して、帰宅時馴染みの方々との交流が出来るように、ご家族の方々に協力を頂き実現できるように努めております。	利用開始時やご家族来訪時に、生活習慣や本人を取り巻く人間関係などを聞き取り支援に活用している。本人が希望する商店・美容室・墓参り・一時帰宅・地域の行事など、ご家族の協力も得ながら支援している。また、電話や手紙の取次ぎのほか、家族・知人の来所時にはゆっくりとくつろげるように可能な支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	活動や日々の生活の中で交流を図り会話を楽しまれていらっしゃいます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご家族様の訪問や電話での交流は継続しており相談を受けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人一人の思いを尊重して希望がかなうように努め入居者様本意のケアになるよう努めています。</p>	<p>利用開始時の本人や家族からの聞き取りや知人からの情報、また、日常の言葉や表情・所作から思いや意向を把握するように努めている。職員の気づきも含めてミーティングや申し送りで共有を図り、家族とも相談しながら、利用者の思いに沿って最良の支援となるよう努力を重ねている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>事前のアセスメントと入居後の傾聴を通して情報把握に努め馴染みの生活を継続できるように努めております。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>コミュニケーションを通してご本人様のニーズの把握に努め入居者様一人一人らしい生活が出来るように努めています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ライフサポートプランの「○○がしたい」の実現の為ご家族様必要関係者に情報を頂き実現に努めています。</p>	<p>介護計画は、本人・家族と話し合い、担当医・看護師等の関係者とも確認を行い、何よりも利用者の希望を尊重したわかりやすいものを作成している。また毎月モニタリングを行い必要な修正を施すとともに、状態変化に対応した話し合いのもと計画の見直し、修正を適切に実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	認知症対応共同生活介護記録の活用、申し送りノート、気づいた点を連絡メモとして書き業務改善で、上げ全職員が周知し介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ関連事業所との連携を図りニーズに答えられるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	季節の活動（地域のひろば）を通して交流を図り顔なじみの方が増えるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診においては職員（基本看護師）の付き添いにて対応 ご家族に了解を取り、かかりつけ医による訪問診療も対応している。	利用前の受診状況の把握により本人や家族の希望を最優先して、母体医療機関をはじめとしたかかりつけ医の受診を適切に支援している。申し送りノートに受診経過を残して、利用者の状況に応じて対応可能なように、看護師を中心に家族や医師との情報交換も密に行っている。母体医療機関が近くにあり、緊急時も適切な医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の健康チェックにより状態把握、Drへの報告と状態により指示と受診治療が出来るように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、入院時までの経過提供と入院後は、看護師等から情報を頂き状態把握と共有に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様、ご家族に入所時にマニュアル・方針について説明で理解を得ていますが、まだ体制が整っていない。</p>	<p>重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、その後も様々な状況の変化に応じて本人や家族、かかりつけ医と繰り返し話し合いを行っている。職員にはマニュアルを活用した研修を行い理解を深め、更なる支援体制の充実も図っている。母体医療機関とは24時間体制で連携がとれ、ご家族の安心につながっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>地域自治会の主催 応急手当の研修に参加と参加した職員により資料配付により迅速に動けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>GH独自の定期的な避難訓練と事業所の取り組みとして防災委員を中心に事業所、近隣者を交えて避難訓練の実施。自治会主催避難訓練への参加と連携が図れるように努めております。</p>	<p>消防署の支援のもと、定期的に夜間も含む火災や地震を想定した避難訓練や消火・通報訓練を実施している。また、災害を想定した自主訓練も行い、地域主催の訓練にも参加するなど防災への意識は非常に高い。スプリンクラーや自動通報装置等の設置や点検、食料・水・卓上コンロ・懐中電灯等も十分に準備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄、入浴等それぞれの場面で尊厳やプライバシーに配慮して気配り言葉使いを常に心がけ対応している。	接遇研修等の充実で職員の資質の向上を図り、特に日常のケアに際しては観察は細やかに、また、利用者個々のペースに合わせ、利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。個人記録の仕方や保管場所、居室の保護などにも誇りやプライバシーの確保に徹底した配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	プランに沿ってその方の「したい」を実現できるように努め、希望等があれば耳を傾け必要に応じて対応を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に必要に応じてケアを体調を考慮し希望に添い、出来ることは一緒に行うことで楽しみながら出来るように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好みに合わせ、その方に配慮した服装や身だしなみを心がけています。散髪については、主張サービスの方に訪問して頂く方と、ご家族の方と美容室に出かける方といらっしゃいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立については、管理栄養士にて行い委託業者にて調理して頂いていますが、個別に刻み食やミキサー食等対応している。朝食、季節のおやつについては皆さんで、楽しく作られている。	日常会話で把握できた利用者の好みをくみ取るよう努め、とろみやきざみ食等の工夫も行い、食事を楽しみながら行う雰囲気作りに努めている。弁当持参の外出や外食、敬老会やクリスマス会・おせちなどの季節行事に沿った料理やおやつの提供、家族も交えた味噌づくりや餅つき、そば打ちなどの様々な工夫も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	それぞれの食事量や水分量、食事形態を把握しバランスよく確保出来るように支援している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	毎食後の口腔ケアの実施と夕食後の洗浄剤の利用により口腔ケアに努めています。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	排泄表の活用により、排泄パターンを把握して、それぞれ日中と夜間の能力に合わせて対応している。	排泄チェック表を適切に活用し、昼間は利用者の羞恥心や不安に配慮しながら誘導や声かけを工夫して、可能な限りトイレで排泄できるよう支援している。利用者個々の状況に応じた適切な援助方法や用品の選択が行えるように、一連の工夫は利用者個々の介護プランに盛り込まれている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	排泄表の活用と食事内容や腹部マッサージを実地して便秘にならないように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や安全面に配慮しながら無理強いすることなく入居者様の状態に合わせて対応している。	利用者の体調や希望、安全面に十分配慮して、場合によってはシャワー浴や清拭に変更することの対応を含め、個々の気持ちに配慮しながらゆったりと安心して入浴が楽しめるように支援している。シャンプーや入浴剤などを含む本人の好みや習慣は、本人やご家族から聞き取り把握している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の様子や体調を見ながら昼寝や、ソファでくつろいで頂いています。夜間については、巡視にて安心して休んで頂けるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の説明を理解して、不明点についてはDrや薬剤師に確認をしている。服薬セットについては、看護師にて実地している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴や嗜好品を把握して、その方の好きなことや外出時の支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気が良い時や体調に合わせて散歩や買い物に出かけている。また本人の意向のあるときは、ご家族に伝えかなうように声かけをしている。	利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って散歩や買い物・ドライブ、また、家族や地域住民の協力も得て地域の夏祭りや敬老会などに出かけている。年に数回は、遠方への花見やドライブも支援している。ご家族の援助のもとで正月の帰宅、温泉、美容院、外出先での食事なども勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様家族の意向にて現金預かりを行っている。月々金銭出納管理表を確認送付している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話で声が聞きたい方は、要望に応じております。また手紙や年賀状も職員と一緒に取り組んでいます。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様が、安心して暮らせるように障害物や危険物の排除、空調の調整。また季節に合わせた作品・植物を飾り居心地良く過ごせるように心がけています。</p>	<p>共用の空間はゆったりとして明るく清潔な環境であり、利用者が安心・安全に暮らせるよう気配りがなされ、畳のスペースやソファ・イスなど好みの場所できつろげる。また、室温や湿度にも十分配慮されて観葉植物も飾られ、周囲の壁には行事の写真や利用者作成の貼り絵などが掲示され居心地よく過ごせるように工夫されている。建物の周囲はウッドデッキがあり自由に散策できる環境になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースで、思い思いの場所で過ごされる事が多く、テレビを視聴されたり、お話をされ過ごされていらっしゃいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に自宅より使い慣れた家具や寝具を持ってこられ、ご家族の写真を飾って頂き居心地よく安心して過ごして頂けるように心がけております。</p>	<p>居室は全て洋室であり、ゆったりと広く明るい。ホームが準備したエアコン・ベッド・ロッカーなどが置かれ、利用者が使い慣れた寝具や時計・小さな棚・写真などを自由に持ち込んでもらい、プライバシーを大切にしながら、自分の部屋として本人が落ち着いて過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、自室にすぐにいけるように掲示し少しでも自立支援に繋がるように努めています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない